

蒲田駅東口の現況

1) 歩行者空間

- ① 東口駅前広場に集中する歩行者交通量に対して歩行者空間が不足している。
- ② アロマスクエア周辺など、バス利用者と歩行者が交錯している。
- ③ 駅前広場内やその周辺で自転車と歩行者の動線が交錯している。
- ④ 駅前広場を横断する歩行者と通過する自動車動線が交錯している。

①不足する歩行者空間



②バス利用者と歩行者の交錯



③自転車と歩行者の交錯



2) 交通機能

- ⑤ 交通結節点として役割を担うバス乗車場・降車場が分散しており、駅へのアクセスに時間を要するなど利便性が悪く、駅の視認ができない降車場もある。
- ⑥ 一般車（通過交通）が広場内に進入し、バス、タクシー動線と交錯している。
- ⑦ 必要な交通施設を集約するための駅前広場空間が不足している。
- ⑧ 駅ビルや商店街来店者等の自転車駐車場が不足しており、駅周辺に放置自転車が多くみられる。

⑤アロマスクエア前のバス降車場



⑥一般車（通過交通）が交錯する駅前



⑦駅前広場空間の不足



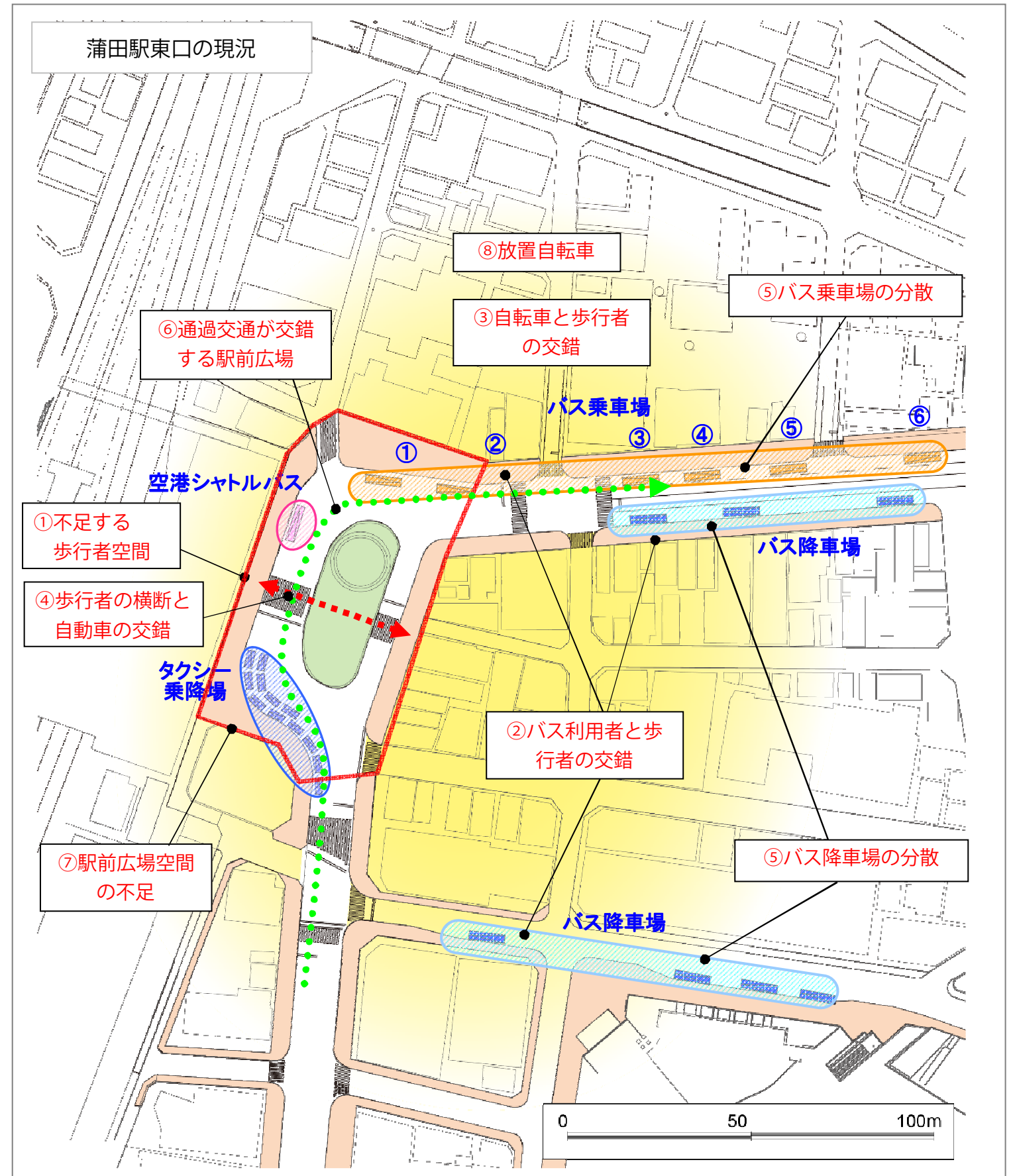
⑧補助36号線上の放置自転車



(駅前広場正面のビルの景観)



(駅前広場南側のビルの景観)



蒲田駅西口の現況

1) 歩行者空間に関する現況

- ① 駅前広場南側段差形状により、歩行者動線の迂回が生じている。
- ② 駅前広場北側の植栽帯付近の車道部を通行する歩行者がみられる。
- ③ 駅前広場内での自転車と歩行者の動線が交錯している。

①駅前広場南側の段差形状



②植栽等を避けて車道を通る歩行者



③自転車と歩行者の動線の交錯



2) 交通機能に関する現況

- ④ バス乗車場・降車場が周辺道路に分散して配置されている。
- ⑤ バス乗車場前の歩道幅員が狭く、乗車客の待ちスペースが不十分である。
- ⑥ 駅前広場利用のタクシーと一般車の動線が交錯している。
- ⑦ 荷捌き車両や一般車が多く駐停車している。
- ⑧ 歩道上等で放置自転車が発生している。

④周辺道路のバス降車場



⑤バス乗車場前の歩道



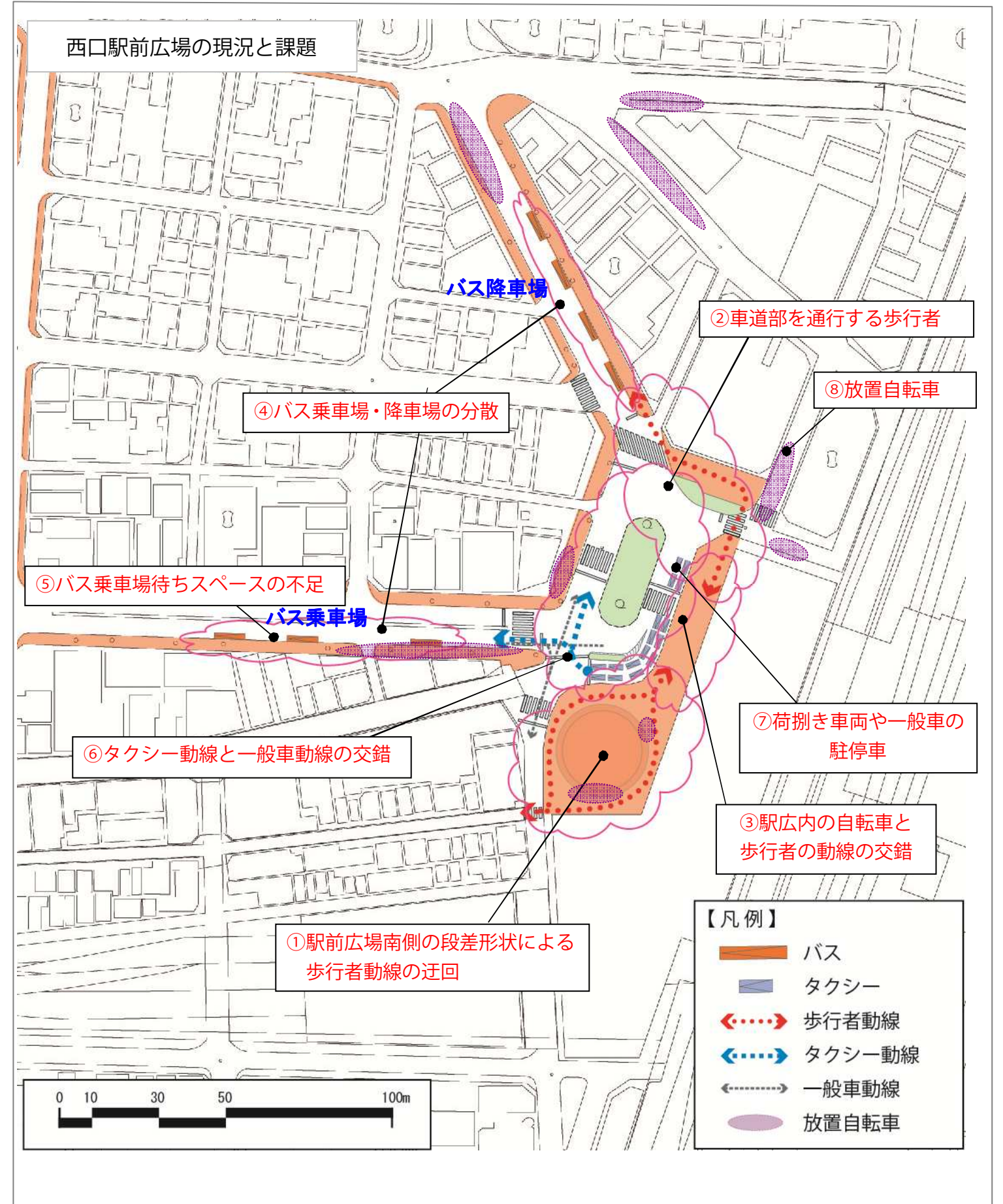
⑥蒲田駅西口交差点



⑦駐停車する荷捌き車両



⑧駅前広場南側の放置自転車

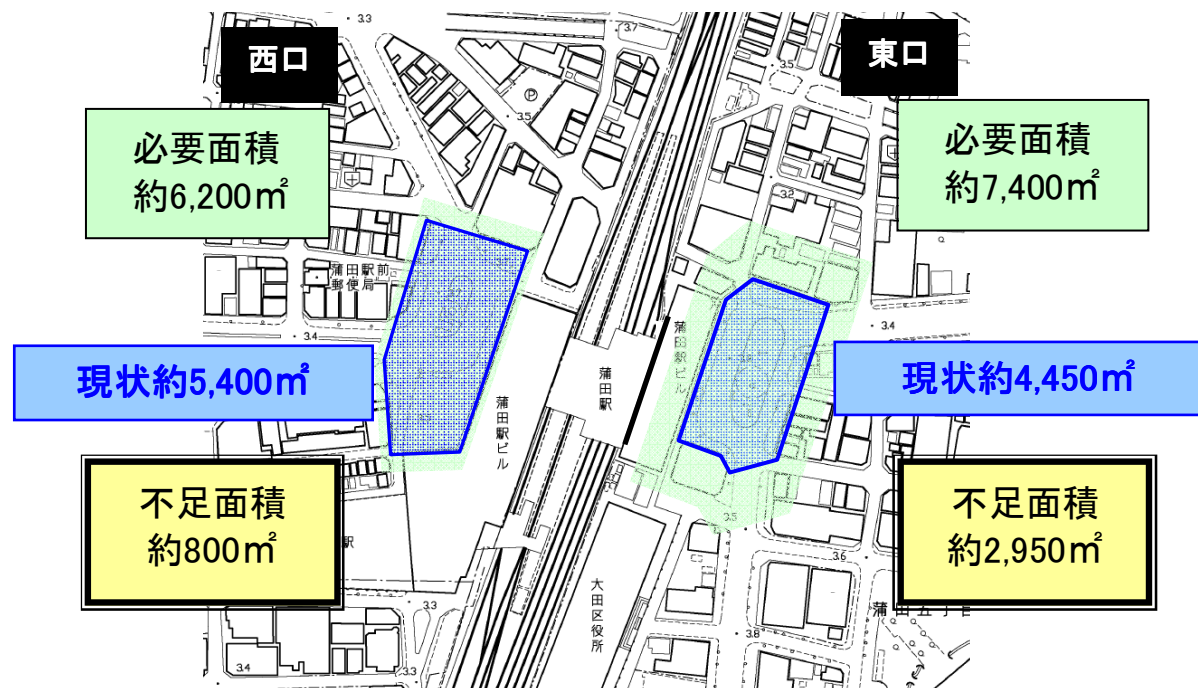


駅前広場面積拡張の検討

● 駅前広場面積の不足

【東口】
現状面積（約 4,450 m²）は、駅前広場として必要とされる面積（約 7,400 m²）に対して大きく不足しており、十分な歩行者空間と交通空間が確保できていない。

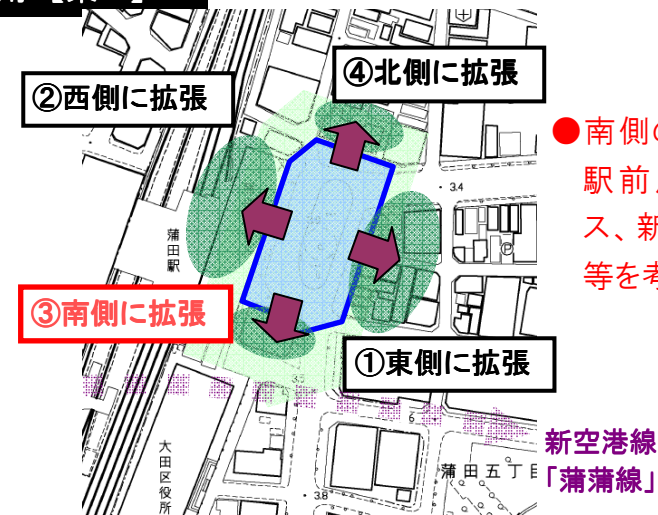
【西口】
現状面積（約 5,400 m²）は、駅前広場として必要とされる面積（約 6,200 m²）に対して不足している。



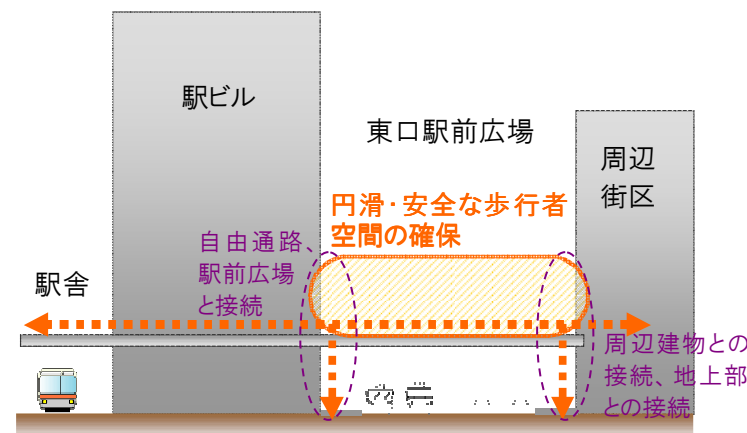
- ◆東口は大幅な面積拡張方法を検討
- ◆西口は周辺街区の部分的な面積確保を検討

● 駅前広場拡張の考え方

民間用地の活用【東口】

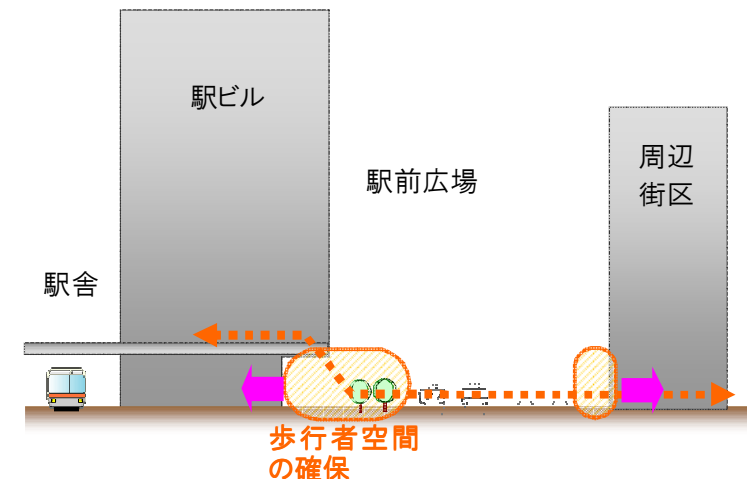


立体利用【東口】



●駅ビルと駅周辺街区をつなぐ、駅広場立体利用による歩行者空間を確保

周辺街区地上部の一部開放【東口・西口】



●周辺街区建物の建替え時に、地上部スペースを歩行者空間として確保